

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公開番号】特開2016-31188(P2016-31188A)
 【公開日】平成28年3月7日(2016.3.7)
 【年通号数】公開・登録公報2016-014
 【出願番号】特願2014-153785(P2014-153785)
 【国際特許分類】

F 2 5 D 21/08 (2006.01)

F 2 5 D 21/06 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 21/08 E

F 2 5 D 21/06 K

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月31日(2016.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも冷凍室及び冷蔵室と、前記冷蔵室及び前記冷凍室に供給される冷気を生成する冷凍サイクルを構成する圧縮機及び冷却器と、前記冷却器で冷却された冷気を前記冷凍室と前記冷蔵室に循環させる送風機と、前記冷却器から前記冷凍室への送風を制御する冷凍室ダンパと、前記冷却器の下部に配設した第1のヒータ及び前記冷却器に近接して配設した第2のヒータと、前記圧縮機、前記送風機、前記冷凍室ダンパ、前記第1のヒータ、及び前記第2のヒータの動作を制御する制御手段を備える冷蔵庫において、

前記制御手段によって実行される除霜運転モードは、前記圧縮機を停止させて少なくとも前記冷凍室ダンパが閉状態で、前記第1のヒータに通電して除霜運転を行い、更にその後前記第2のヒータに通電して前記第1のヒータと前記第2のヒータによる除霜運転を行うようにしたことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

請求項1に記載の冷蔵庫において、

前記冷却器から前記冷蔵室への送風を制御する冷蔵室ダンパを備え、

前記制御手段によって実行される除霜運転モードは、前記圧縮機を停止させて少なくとも前記冷凍室ダンパが閉状態、前記冷蔵室ダンパが開状態で前記送風機による除霜運転を行い、その後前記第1のヒータによる除霜運転を実施することを特徴とする冷蔵庫。

【請求項3】

請求項1に記載の冷蔵庫において

前記制御手段は、前記第1のヒータによる除霜運転と、前記第1のヒータと前記第2のヒータによる除霜運転であっても前記送風機を駆動しているか、或いは前記第1のヒータによる除霜運転と、前記第1のヒータと前記第2のヒータによる除霜運転では前記送風機を停止していることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項4】

請求項1に記載の冷蔵庫において、

前記制御手段は、前記第1のヒータによる除霜運転を前記送風機による除霜運転の開始から所定時間経過後に開始し、前記第2のヒータによる除霜運転を前記第1のヒータによ

る除霜運転の後で、しかも前記冷却器の温度が所定温度に達すると開始することを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の冷蔵庫において、

前記制御手段には前記冷却器の温度を測定する冷却器温度センサからの温度信号が入力され、

前記制御手段は、前記冷却器の温度が所定温度に到達した時に前記第 2 のヒータの通電を終了し、前記冷却器の温度が前記第 1 の所定温度より高い第 2 の所定温度に到達した時に前記第 1 のヒータの通電を終了することを特徴とする冷蔵庫。